

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかり園		
○保護者評価実施期間	2025年 2月17日		～ 2025年 2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年 2月17日		～ 2025年 2月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月17日		～ 2025年 2月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援検討記録表を活用している。	・事前に訪問先に子どもの状況や保育上の課題を出していただき事前に把握して訪問している。 ・訪問後は、訪問時の子どもの様子や検討内容、今後の方針について書面にまとめている。保護者・訪問先に同じものを送付し、3者が共通理解できるようにしている。	・引き続き、事前の課題整理やいいな訪問の記録を行っていき、子どもの集団生活の充実に努める。 ・子どもの発達や特性を理解し、子どもを見る視点を高め適切な支援につなげていけるよう、職員の専門性を高める。
2	療育経験が多い訪問支援員を配置し、また、可能な限り複数での訪問を実施している	・様々な視点で子どもの姿を捉えるようにしている。職員間での振り返り、実践も交えながら支援できるように努めている。	・訪問支援員の育成を図る。職員間での会議を充実させ、保育現場の環境や課題、強みなどを共有する。研修に積極的に参加し、専門性を高める。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との面談の機会が少ない。	・契約時と個別支援計画の確認時の面談を行っているが、訪問ごとの報告は書面となっている。	・保護者と顔を合わせた形の面談の機会を設ける。
2	訪問の回数が少ない。	・訪問支援員が児童発達支援との兼任であるため、訪問先の都合とあわせると訪問回数は限られる。	・職員体制の充実に努める。訪問先とカンファレンスの時間を柔軟に調整していく。
3			